



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シード
コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鎌田 清

TEL 03-3813-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,099	16.9	592	62.2	539	69.2	282	72.8
27年3月期第3四半期	13,768	1.2	365	△49.9	318	△50.1	163	△38.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 192百万円 (△58.7%) 27年3月期第3四半期 464百万円 (73.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	33.03	—
27年3月期第3四半期	19.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	24,632	8,390	34.1	980.77
27年3月期	24,823	8,390	33.8	980.80

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 8,390百万円 27年3月期 8,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	22.50	22.50
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	13.7	800	47.8	750	58.0	400	84.8	46.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	9,112,000 株	27年3月期	9,112,000 株
28年3月期3Q	557,348 株	27年3月期	557,300 株
28年3月期3Q	8,554,685 株	27年3月期3Q	8,554,746 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調にありますものの、中国をはじめとする新興国の景気減速懸念や原油価格の下落等により、国際経済のさらなる下振れリスクもあり、先行き不透明な状況で推移しております。

コンタクトレンズや眼鏡業界におきましては、消費税特需による反動減の影響も一巡し市場は回復基調で推移しており、新商品、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の競争は激化しております。

このような状況の中、当社グループといたしましては、今期を起点とする3ヶ年中期経営計画を策定し、『世界に広がる“日本のシード”』を具現化してゆく3年間と位置付け、「販売戦略」、「商品戦略」、「生産・開発力強化」、「管理体制強化」を最重要施策として、変化する市場や将来の競争力強化に結実すべく、積極的に経営資源を投下し、海外市場での販路拡大や、新商品の投入、既存商品のスペック拡充、ブランド認知度向上を図り、国産ならではの開発力、品質・安全性の高さを、お客様にご提供していくことで確実にシェア拡大に繋げております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,099百万円(前年同期比16.9%増)と増収となり、利益につきましても、広告宣伝費の投下や売上増加に伴う物流コスト等の増加はありましたものの、売上高の伸長等により営業利益592百万円(前年同期比62.2%増)、経常利益539百万円(前年同期比69.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益282百万円(前年同期比72.8%増)と増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

コンタクトレンズ・ケア用品につきましては、純国産1日使い捨てコンタクトの「シードワンデーピュア」シリーズや、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」と「ヒロインメイクワンデーUV」を柱として、国産の品質力やきめ細やかな対応力、独自の付加価値といったアピールポイントを前面に、市場が活性化する12月にはTVコマーシャルの全国放映、上海や台湾ではブランド告知や周年記念のイベントを開催する等、国内外において積極的な活動を展開してまいりました。また、新たに北歐4ヶ国での販売も開始することができました。

この結果、昨年6月から全国発売を開始いたしました「シードワンデーピュアうるおいプラス乱視用」や、女優の飯島直子さんをキャラクターに起用した遠近両用の「シードワンデーピュアマルチステージ」等の機能性コンタクトが着実に伸長しております。また、近視・遠視用も計画どおり進捗しており、主力アイテムである「シードワンデーピュア」シリーズは約33%の伸長となりました。加えて、回復基調の市況を背景に、2週間や1ヶ月交換タイプにおいても前年同期比約20%増と伸長しており、売上高は15,133百万円(前年同期比17.8%増)と増収となりました。出荷増に伴う物流関連費用や広告宣伝費、新製品投入に伴うトライアルレンズ費用、研究開発費の投入等で販管費が増加しているものの、売上伸長による粗利益増加によって、営業利益につきましては、1,116百万円(前年同期比33.0%増)と増益となりました。

(眼鏡)

眼鏡につきましては、主力フレームの「ビビッドムーン」や「プラスミックス」を中心に、代理店の活用や地方展示会出展等、新販路の開拓や既存得意先での取引量拡大に努めてまいりました。

眼鏡業界におきましても、消費税特需による反動減の影響が一巡し消費動向は回復基調にあり、主力フレームの新作モデルが大型チェーン店等で採用され予定どおり配荷されました。この結果、売上高は710百万円(前年同期比6.4%増)となりましたものの、眼鏡レンズ在庫の評価減26百万円を計上したため、営業損失52百万円(前年同期営業損失29百万円)となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高は256百万円(前年同期比0.1%減)とほぼ前年同期並みとなり、営業損失54百万円(前年同期営業損失29百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、24,632百万円となり、前連結会計年度末から191百万円減少いたしました。主な要因として、売上高の伸長に伴いたな卸資産が697百万円(4,311百万円から3,614百万円)減少したことや、減価償却の進捗により有形固定資産が678百万円(14,135百万円から13,457百万円)減少したことが挙げられます。

負債につきましては、16,242百万円となり、191百万円の減少となりました。主な要因として、広告宣伝費や業務委託費等の販管費の増加に伴う支払手形及び買掛金が256百万円(752百万円から1,009百万円)増加した一方で、借入金の返済により長短の合計借入金が702百万円(8,426百万円から7,723百万円)、長期リース債務が431百万円(3,141百万円から2,709百万円)減少していることが挙げられます。

純資産につきましては、8,390百万円となり、前連結会計年度末とほぼ同額となりました。利益剰余金が90百万円(2,924百万円から3,014百万円)増加した一方で、その他有価証券評価差額金が55百万円(270百万円から214百万円)、繰延ヘッジ損益が59百万円(42百万円から△17百万円)減少したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,938百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,887百万円(前年同期384百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、売上高の伸長に伴うたな卸資産の減少697百万円や減価償却費1,317百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は、売上債権の増加174百万円や賞与引当金の減少126百万円が挙げられます。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、592百万円(前年同期2,142百万円の支出)となりました。その主な要因は、鴻巣研究所2号棟竣工等に伴う有形固定資産の取得による支出306百万円や、定期預金への預け入れ301百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,525百万円(前年同期1,524百万円の収入)となりました。資金減少の主な要因は、長期借入金の返済1,479百万円やリース債務の返済による支出631百万円であります。資金増加の主な要因は、短期借入金の純増減額776百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年11月5日付「平成28年3月期 第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155,443	2,240,483
受取手形及び売掛金	3,400,413	3,575,221
商品及び製品	3,606,667	2,926,383
仕掛品	363,915	353,767
原材料及び貯蔵品	341,214	334,157
未収入金	307,699	292,125
その他	600,313	583,309
貸倒引当金	△124,364	△123,182
流動資産合計	9,651,304	10,182,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,057,956	4,755,614
機械装置及び運搬具(純額)	1,263,486	1,027,373
土地	3,548,710	3,548,710
リース資産(純額)	3,880,866	3,480,312
建設仮勘定	92,215	415,930
その他(純額)	292,424	229,511
有形固定資産合計	14,135,658	13,457,452
無形固定資産	71,953	64,212
投資その他の資産	964,632	928,211
固定資産合計	15,172,244	14,449,876
資産合計	24,823,549	24,632,143

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	752,802	1,009,328
短期借入金	4,538,584	5,095,184
リース債務	886,239	875,097
未払法人税等	13,512	92,991
賞与引当金	286,300	159,790
製品保証引当金	37,830	37,600
その他	1,438,438	2,094,826
流動負債合計	7,953,706	9,364,816
固定負債		
長期借入金	3,887,761	2,628,442
リース債務	3,141,197	2,709,736
退職給付に係る負債	1,256,854	1,319,572
役員退職慰労引当金	64,856	71,934
資産除去債務	125,688	126,002
その他	3,000	21,502
固定負債合計	8,479,357	6,877,189
負債合計	16,433,064	16,242,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,546,560	3,546,560
利益剰余金	2,924,419	3,014,530
自己株式	△176,292	△176,350
株主資本合計	8,135,967	8,226,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270,241	214,498
繰延ヘッジ損益	42,076	△17,582
為替換算調整勘定	△22,564	△4,142
退職給付に係る調整累計額	△35,236	△28,657
その他の包括利益累計額合計	254,517	164,116
純資産合計	8,390,485	8,390,137
負債純資産合計	24,823,549	24,632,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	13,768,033	16,099,870
売上原価	7,959,515	9,616,857
売上総利益	5,808,517	6,483,013
販売費及び一般管理費	5,443,319	5,890,725
営業利益	365,198	592,288
営業外収益		
受取利息	536	725
受取配当金	5,629	6,216
受取賃貸料	9,218	14,071
為替差益	3,650	—
受取保険金	28,322	—
売電収入	17,494	26,558
その他	17,463	18,085
営業外収益合計	82,315	65,656
営業外費用		
支払利息	87,200	85,665
その他	41,664	32,984
営業外費用合計	128,864	118,650
経常利益	318,648	539,293
特別利益		
固定資産売却益	—	5,013
投資有価証券売却益	—	1,807
特別利益合計	—	6,820
特別損失		
固定資産除却損	—	21,694
特別損失合計	—	21,694
税金等調整前四半期純利益	318,648	524,420
法人税、住民税及び事業税	39,589	122,412
法人税等調整額	115,506	119,416
法人税等合計	155,095	241,828
四半期純利益	163,553	282,591
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,553	282,591

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	163,553	282,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202,824	△55,742
繰延ヘッジ損益	105,187	△59,659
為替換算調整勘定	△11,108	18,422
退職給付に係る調整額	4,348	6,579
その他の包括利益合計	301,252	△90,401
四半期包括利益	464,805	192,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464,805	192,190
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	318,648	524,420
減価償却費	1,096,063	1,317,120
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,889	△1,642
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47,961	72,431
賞与引当金の増減額(△は減少)	△140,265	△126,510
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5,250	△230
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,866	7,078
受取利息及び受取配当金	△6,165	△6,941
支払利息	87,200	85,665
固定資産売却損益(△は益)	—	△5,013
固定資産除却損	—	21,694
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,807
売上債権の増減額(△は増加)	669,658	△174,617
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,007,359	697,489
仕入債務の増減額(△は減少)	△228,997	256,525
未払金の増減額(△は減少)	33,968	70,851
その他	△171,582	271,593
小計	673,123	3,008,107
利息及び配当金の受取額	6,165	6,941
利息の支払額	△86,726	△84,552
法人税等の支払額	△216,229	△64,387
法人税等の還付額	7,668	21,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	384,001	2,887,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△301,625
有形固定資産の取得による支出	△2,110,177	△306,657
有形固定資産の売却による収入	—	5,000
投資有価証券の取得による支出	△736	△777
投資有価証券の売却による収入	—	13,856
貸付けによる支出	△30,000	—
貸付金の回収による収入	6,648	3,307
敷金及び保証金の差入による支出	△928	△3,538
敷金及び保証金の回収による収入	2,242	5,869
その他	△9,958	△8,334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,142,909	△592,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	530,000	776,764
長期借入れによる収入	2,850,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,130,331	△1,479,482
自己株式の取得による支出	—	△57
配当金の支払額	△213,182	△191,706
リース債務の返済による支出	△511,741	△631,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,524,744	△1,525,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,351	14,722
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△241,514	783,514
現金及び現金同等物の期首残高	2,023,217	1,155,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,781,702	1,938,958

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,843,540	667,632	13,511,173	256,859	13,768,033
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,843,540	667,632	13,511,173	256,859	13,768,033
セグメント利益又は損失(△)	839,553	△29,516	810,036	△29,998	780,038

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	810,036
「その他」の区分の損失(△)	△29,998
全社費用(注)	△414,839
四半期連結損益計算書の営業利益	365,198

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,133,030	710,241	15,843,272	256,598	16,099,870
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,133,030	710,241	15,843,272	256,598	16,099,870
セグメント利益又は損失(△)	1,116,908	△52,182	1,064,726	△54,023	1,010,703

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,064,726
「その他」の区分の損失(△)	△54,023
全社費用(注)	△418,414
四半期連結損益計算書の営業利益	592,288

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。